

## 第5次二宮町総合計画前期基本計画の 行政評価について（意見）

第5次総合計画の基本構想に掲げる4つのまちづくりの方向性について、各委員のこれまでの経験を活かし、町民の視点からできるだけ具体的な議論を行い、今後の二宮町の取組みに対して有効なものとなるように評価しました。

全体を通じて、個別の施策や業務をそれぞれに評価しているため、内部評価は高い傾向が見受けられますが、より効果的にまちづくりの方向性に寄与するためには、施策や業務に対し、意識して横断的に取り組むことが重要です。

職員が横断的に取り組む意識改革を進めるとともに、町内における様々なひと、もの、カネ、ことを活用するマネジメント能力の向上、町民活動を推進するために、町民の方々自らに行動をしていただけるような、行政としての考え方を説明できるコミュニケーション能力の向上などについて、戦略的に取り組むことが重要だと感じます。

また、今後、二宮町単独で行政機能を維持し続けることには限界もあることから、横断的発想を広げ、選択と集中を図り、町の魅力を磨きつつ、広域行政を推進していくことが必要となります。

この評価結果が「第5次二宮町総合計画」推進に資するよう、町におかれましては、職員が一丸となり、改善から改革へと行政経営の視点を持ち、政策・施策に反映していただくことを期待いたします。また、本委員会もその実現に寄与していきたいと考えております。